



RI会長 ステファニー・アーチック

2024-2025年



Rotary District 2640 Japan

創立50周年

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 田岡 郁敏 幹事 楠部 均 SAA 前田 誠吏

第 2195 回例会

2024 年 10 月 21 日(月)



海南商工会議所4F 12:30~

ゲスト卓話 株式会社 W.A.O

社長 丸尾 宜延 様

「BCP について」



1. 開会点鐘

2. ロータリーソング

「我らの生業」

3. ゲスト紹介 株式会社 W.A.O 社長 丸尾 宜延 様

会長ゲスト 日本保缶工業所 山崎社長 様

4. 出席報告

会員総数 40 名 出席者数 26 名

出席義務規定適用免除会員 2 名

出席率 76.32% 前回修正出席率 76.32%

5. 会長スピーチ

会長 田岡 郁敏 君

皆さんこんにちは。ただいま衆議院選挙真っただ中でございます。私たちの選挙区、和歌山2区はマスコミ報道で大いに盛り上がっている、日本で注目の選挙区です。昨日は自民党の推薦する候補の応援に内閣総理大臣の石破茂首相が海南駅前にて演説されていまして。私も隣が選挙事務所ということもあり見に行かせていただきましたが、多くの聴衆はもとよりその厳戒な警備体制にも驚かされました。田村ビルや他のビルの屋上にもSP が配備されて物々しい雰囲気ではありました。皆さんぜひ投票には行きましょう。



本日はお客様として株式会社 W.A.O の社長の丸尾宣延(まるお よしのぶ)様にお越しいただいております。お忙しい中ご足労いただきありがとうございます。後ほど BCP(事業継続計画)について卓話のほうよろしくお願いいたします。

また、本日は楠部幹事のお知り合いで株式会社日本保缶工業所代表取締役の山崎直紀様を会長ゲストとしてお招きさせていただいております。今回の例会参加をきっかけに是非とも私たちの仲間になって

いただければと思います。

さて、前回もお話しさせていただきました通り10月は、米山月間となっております。先日は、山畑米山委員長からも FAX でのお知らせがあったと思います。皆様、是非とも、ご寄付のほどよろしくお願いいたします。

それでは10月3日に行われました理事会の報告をさせていただきます。

まず、報告事項として50周年記念行事の案内で第二分区の8クラブをメイキャップしたことに加えて、現在6か所のこども食堂の援助として支援金とお米など物資を各こども食堂に手配して訪問しています。社会奉仕委員長の田中淳さんはすべての会場を訪問することになっています。本当にありがとうございます。

また、フィリピンマングラウェイストロータリークラブとのZOOM会議で今期の共同奉仕事業の手洗いの設置候補としてオランゴ島にあるトゥンガサン小学校が挙げられています。オランゴ島は空港のあるマクタン島から船で約15分の距離にあるセブ島からすぐに行ける秘境と言われている島です。この島の子供たちの衛生環境の改善を図り健康の維持促進に貢献したいとかがえています。

今年度も寄付を実行していくことが決まりました。来月11月10日にはいよいよ50周年記念事業の一つであるゴルフ大会が有田リソルゴルフクラブで開催されます。50周年の最初の事業となります。段取り、商品選定など大変なことが多くありますが魚谷記念ゴルフ担当委員長をはじめとしてクラブ全員で成功させましょう。

また、次の週の16日17日で2640地区の地区大会が大阪りんくうタウンのゲートタワーホテル関西エアポートで開催されます。大会のテーマは「DEI の考え方を学び、実践する」です。DEI とは(Diversity 多様性・Equity 公平性・Inclusion 包括性)の頭文字を取った言葉です。企業や組織における多様性や公平性を重視する考え方を示します。多くの皆様のご参加を祈念いたします。

10月は「地域社会の経済発展月間・米山月間」です

四つのテスト 寄付はこれにからしてから

①真実かどうか ②好意と友情を深められるか
③みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)

TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

<http://www.kainaneast-rc.jp>E-mail: info@kainaneast-rc.jp

6. 幹事報告

幹事 楠部 均 君

○例会臨時変更のお知らせ

那智勝浦 RC 11月7日(木) 13:25～
那智勝浦町立宇久井中学校
「米山奨学生と中学生との交流例会」
田辺東 RC 11月13日(水) 移動例会 12:15～
「ホテルハーヴェスト南紀田辺」
田辺ライオンズ様との合同例会
和歌山中 RC 11月15日(金)→13日(水)
18:30～ アバローム紀の国
和歌山東南 RC との合同例会
和歌山北 RC 11月18日(月) 18:30～20:30
アバローム紀の国
和歌山アゼリア RC との合同夜間例会

○例会休会のお知らせ

和歌山 RC 10月29日(火)
和歌山中 RC 11月8日(金) 22日(金)
那智勝浦 RC 11月14日(木) 21日(木)
田辺東 RC 11月20日(水) 27日(水)

7. 委員会報告

○米山月間について 米山委員長 山畑 弥生 君
内容:別稿

8. ゲスト卓話 株式会社 W.A.O 社長 丸尾 宜延 様 大野フェス

【実行委員会の目的】

子育てを、公教育(学校)だけに任せるのではなく、行政、民間(企業)、地域住民も含め街全体で取り組む環境を作ること、若い世代(子育て世代、次期子育て世代)の流入を図り海南市をさらに発展させる。



【今回イベントのミッション】

・子供達に普段できない経験をさせる

学童保育を利用する家庭の増加に伴い、大野小学校でも受け入れが3年生までとなっている。人数が多いため、一人一人に合わせた保育が難しい状況となってしまう。今回「相撲」を通して全学年の子供達の「挑戦する気持ち」「悔しい気持ち」「痛い思い」「礼節により相手を思いやる気持ち」を育む機会を提供する

・地域社会へ小学校(学童保育)の現状を発信

このwithコロナの時代、希薄になってしまった地域社会のコミュニティを再構築する。

公教育(学校)だけの問題にとらえるのではなく、地域の問題として子育て世代だけでなく幅広い層の住民に発信する。

・地域社会へ地元ホワイト企業を紹介

公教育(学校)、地域住民だけでなく、民間(企業)にも学校のことを知ってもらい、そして地域住民の方にも企業のことを知ってもらえる機会にする。

【企画概要】

イベント名:相撲大会×キッチンカー海南フェス
開催日時 :2025 年 2 月 23 日(日) 9 時～17 時

開催場所 :海南市民体育館 旧ココ跡地

出展数 :キッチンカー 18 台

主催 :海南フェス実行委員会

大野フェスの報告書

作成者:大野フェス実行委員会

代表 丸尾宜延

1. イベントの概要

タイトル:相撲大会 × キッチンカー 大野フェス
実施の目的:子育てを、公教育(学校)だけに任せるのではなく、行政、民間(企業)、地域住民も含め街全体で取り組む環境を作ること、若い世代(子育て世代、次期子育て世代)の流入を図り海南市をさらに発展させる。

ミッション:

- ・子供達に普段できない経験をさせる
- ・地域社会へ大野小学校(学童保育)の現状を発信
- ・地域社会へ地元ホワイト企業を紹介

2. イベントの詳細

内容:相撲大会

ターゲット:大野小学校児童 271 名

日時:2024/2/25 9 時 ～ 17 時

場所:大野小学校 体育館

参加料:500 円

参加賞:キッチンカー 500 円チケット+景品(協賛企業様からの提供)

競技方法:学年別、男女別トーナメント方式

優勝賞品:曲げわっぱ弁当

表彰:

・横綱1名(優勝)・大関1名(準優勝)・関脇 2 名 (4 位)

目標:

・児童過半数の参加(136 名)

ゲスト:名門、春日野部屋所属力士 2 名参加

・和歌桜・栃乃島

一般来場者数

362 名(達成率 72.4%)



9. 閉会点鐘

次回例会

第 2196 回 2024 年 10 月 28(月)
海南商工会議所 4F 19:00～
会員卓話 50 周年準備状況報告
式典・祝賀部会 部長 中村 俊之 君
総務・広報部会 部長 田中 淳 君
記念ゴルフ部会 部長 魚谷 幸司 君



ニコニコ・BOX

田岡 郁敏 君 W.A.O 丸尾社長、本日は卓話よろしく
お願いします。

日本保臣工業所、山崎社長ようこそ
当クラブの例会にお越し頂きありが
とうございます。楽しんでいって下
さい。

楠部 均 君 //

前田 誠吏 君 //

岡 洋平 君 丸尾さん、本日はお忙しいところ、
ありがとうございます。卓話楽しみ
にしています。

角谷 太基 君 丸尾さん、本日は卓話ありがとうございます。
楽しみにしています。

山畑 弥生 君 米山委員会議に出席して来ました。
交通費を頂いたので、いれます。

米山委員長会議報告 (2024～2025 年度)

2024. 9. 14 ホテルグランピア

米山委員長 山畑 弥生 君

先ず始めに米山の歴史についてのお話があり本
題に入りました。創設にあたり戦争で近隣諸国に迷惑
を掛けた為、日本の信用と信頼を取り戻す目的もあり
アジア地域(台湾や韓国)の優秀な学生を日本に招
き 2 年間研究させた。

- ・米山記念奨学事業について
- ・今年度の委員会事業について

1 奨学生卓話派遣について

現在のところ 6 クラブから派遣希望があり、地区で
は一応 9/15 で締め切ったが希望するクラブが余りにも
少ないので今後も随時受け付ける。但し、クラブ同
士で日程などは調整する

2 次年度推薦指定校について

3 校増え 12 校となる予定。

3 次年度世話クラブについて

奨学生の受け入れを希望するクラブが多く、皆さ
んの寄付額で奨学生の人数が割り当てられるので沢
山のご寄付をお願いする

4 学友会とは、

元奨学生を中心とする同窓会組織 (日本 33、海
外に 10)

- ・毎年、年次大会 ・2 年に1度、世界大会が開催さ

れている。

2) 学友会の現状と今後について

1 学友会に期待するところ 学友会とは、奨学生
の同窓会組織

・那智勝浦 RC への学友や奨学生卓話派遣の一例の
紹介

教育委員会や校長会の支援を受けて那智勝浦町
内の中学校(毎年 1 校を対象に)奨学生の卓話をして
もらい先生と生徒、ロータリアンとの交流例会を開催
している。

・クラブ独自の奨学金制度があるクラブもある。

2 ホームカミング制度の紹介

・国内外で活躍する学友に里帰りしてもらいスピー
チを通じて多

くのロータリアンに 米山奨学生事業の意義を広く
伝えるための制度 (補助費 25 万円支給)

3 米山親善大使の紹介

米山親善大使 3 名 ロータリーや一般社会で米山
記念奨学事業の PR をし、理解を深める活動をしてい
る。IM や地区の行事のスピーカーとして呼んで下
さい。(交通費や宿泊費、食事代などはクラブで負担)

4 学友会

董(とう)会長から学友会の現状米山奨学会と学友
会へは、合計年間 178 万円の補助金が出ているが、
今のところ学友会では直接補助金は使えず会議参
加も実費になるので使えるよう改正して
欲しいとの要望あり。

3) 寄付について

5 昨年度の寄付実績報告

寄付金納入明細表(寄附額順位)配布される。

海南東 RC 寄付金総額11位 個人平均寄附額 23位

1 人 当たり¥15,512

(普通寄付 225,000、特別寄付 380,000 寄附者数26
名)

2 質疑応答

主な質問

・当所、奨学生の卓話派遣を奨励しないとの地区方針
だったので今回は断念

したが、学生が卓話することによって日本語の勉強
になるのではないかな？

・新宮など遠い地域のロータリークラブでは、学生は
一泊になるが派遣して
頂けるのか？

【応答】

・前年度までは、卓話するにあたって、学生は、卓話原
稿を作成し2日間の研修会を開き、その原稿を添削し
合い完成させている。学生にもロータリアンにも負担
になる。今年度は、地区の活動の簡素化を図り1日の
研修とした。基本的には、地区に派遣の依頼をして頂
いてOKですが、クラブ同士の信頼関係があることを
重視する。本年度はガバナー方針に基づき米山事業
活動を簡素化していくため、今後も試行錯誤して進
める。



シンボルマークについて ©



物資、資金、ボランティアで クラブがサポート

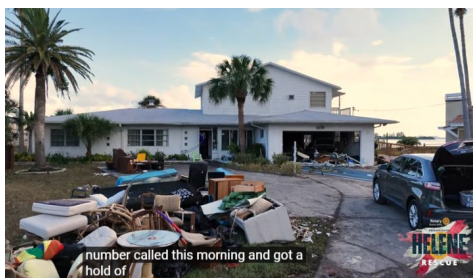
「すでにあつた混乱に、さらに大きな混乱がのしかかった」フロリダ州を連続して直撃した二つのハリケーン後の悲惨な状況について、ケルシー・ミッチェルさん(第 6960 地区ガバナー)はこう語ります。「洪水被災地での復旧作業を中止し、ハリケーンに備える準備に戻らなければなりませんでした」

9 月末に米国南東部を襲ったハリケーン「ヘレン」の被災者のため多くの地区が支援にあたっており、ミッチェルさんの地区もその一つでした。ハリケーン「ミルトン」が去った現在、会員たちは再び救援活動を開始しています。

「地元団体と協力して、最も深刻な被害を受け、助けを必要としている地域を特定しています」とミッチェルさん。「既に州レベルでの災害対策委員会を設置しました。州内の地区ガバナーが毎月会合して災害の準備を行ってきましたが、連続ハリケーンの後にはほぼ毎日顔を合わせています」

10 月 9 日にフロリダ州に上陸したハリケーン「ミルトン」は、カテゴリー3 の威力がありました。そのわずか数週間前、カリブ海、メキシコ湾、米国東海岸の一部をカテゴリー4 のハリケーン「ヘレン」が襲い、大雨による大洪水を引き起こしたばかりでした。米国フロリダ州、ジョージア州、ノースカロライナ州、サウスカロライナ州、テネシー州、バージニア州での死者数は

250 人を上回り、ケイマン諸島、キューバ、ホンジュラス、メキシコを含むほかの国と地域も洪水に見舞われました。



セミノールレイク・ロータリークラブ(フロリダ州)の会員、サンドラ・リロさんの自宅は幸い無事でした。

「私が住む通りにある 80 棟の家のうち、78 棟が浸水しました」とリロさん。「近所の家では 1.2 メートルの高さまで浸水し、ほとんどの家で 60~90 センチの泥が溜まっています」

この災害を受け、米国南東部全域のロータリー会員たちが、即座に義援金、物資、ボランティアなどの支援に乗り出しました。かろうじてハリケーンの被害

を逃れたジョージア州のアルファレッタ・ロータリークラブもその一つです。

「必要物資のリストを作り、クラブ会員が仕事で使っている大型トラックで近隣の数クラブを回って物資を集めました」と、同クラブ会長のジェフ・デイビスさんは話します。トラック一杯に詰め込まれた物資は、ノースカロライナ州にある物資収集所まで運ばれました。このクラブはさらに、発電機の購入資金を集めるための募金活動も行いました。フロリダ州では、多くのロータリークラブの会員が、洪水で水浸しになった壁や床の除去を手伝っています。

「カビが発生しないよう、濡れているうちにできるだけ早く除去する必要があります。そうしないと、家全体にダメージが及んでしまいます」とハロックさんは言います。



ダニーディン・ノース・ロータリークラブ(フロリダ州)も、引っ越し用大型トラックをレンタルし、シャベルや熊手、飲料水、ゴミ袋、濡れたカーペットを切るためのナイフなど、トラック一杯の寄贈物資を収集しました。被災した住民がこれらの物資を受け取ることができるよう、4 か所に物資配給所も設置しました。

「私たちがロータリアンたる理由は、ここにあります」と話すのは、マーク・ミドルトンさん(ダニーディン・ノース・ロータリークラブ会員、地区ガバナーノミネー)です。ミドルトンさんのクラブでも、会員 5 人の自宅が被害を受けました。

「複数のクラブの会員が、浸水被害を受けた家に出向き、泥や壁・床の除去を手伝っています。壁は、浸水ラインよりも高いところからはがす必要があります」とミドルトンさん。「手伝うことができてよかったと思います。このような助けあいの活動を通じて、ロータリーファミリーの絆が深まります」

これらのハリケーンの被災地への食料、医薬品、必要物資を提供するため、ロータリー財団から 3 件の災害救援補助金(各 25,000 ドル)が支給されました。多くのロータリークラブが物資や資金を集め、現地の復旧支援をしています。